

硝酸性窒素対策等地下水質管理的確化調査

20百万円（11百万円）

水・大気環境局
地下水・地盤環境室

1. 事業の概要（背景及び目的）

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（以下「硝酸性窒素等」という。）については、依然として環境基準超過率が全項目の中で最も高い状況にあり、一層の対策推進が必要である。

硝酸性窒素等による汚染については、施肥、家畜排せつ物、生活排水等、汚染原因が多岐にわたり、また、汚染が広範囲に及ぶ場合が多いことから、水質汚濁防止法に基づく排水規制や地下浸透規制等の全国一律的な対策に加え、地域の自然的・社会的特性に応じた対策を講ずることが重要である。

本調査は、このような現状をふまえ、硝酸性窒素等について、環境基準を効率的・効果的に達成するための方策について検討を行うとともに、地域における硝酸性窒素等対策推進計画の策定及び円滑な実施を支援するものである。

（1）硝酸性窒素等の効率的対策の検討

地下水の汚染状況や利用状況、対策の必要性は地域ごとに異なること、また、地方公共団体においては地下水対策予算の削減等を背景に業務の効率化が急務であること等をふまえ、硝酸性窒素等について、効率的・効果的に環境基準を達成するための総合的な対策及び地下水質管理のあり方について、地域指定制度の導入を含めた検討を行う。

（2）硝酸性窒素等対策推進計画策定等支援事業（新規）

硝酸性窒素等による地下水汚染については、有効な対策が地域ごとに異なることから、地域の自然的・社会的特性、汚染実態、発生源等の状況に応じた対策の推進が必要である。具体的には、各々の地域における、窒素負荷低減目標、対策手法、対策の進捗状況の確認手法等を明確にした「硝酸性窒素等対策推進計画」を策定し、計画に基づき関係者の連携のもとに対策を実施することが極めて有効である。しかしながら、計画策定及び策定予定数は平成18年度末時点でわずか200余りにとどまっている。

このような現状をふまえ、地域における硝酸性窒素等対策推進計画の策定およびその円滑な実施を支援するものである。

2. 事業計画

調査項目	H20	H21	H22	H23	H24
(1) 効率的対策検討					
(2) 計画策定等支援（新）					

3. 施策の効果

地下水質保全施策の効率的・効果的な実施が推進され、硝酸性窒素等による人の健康被害の防止や地下水質環境の保全が図られる。

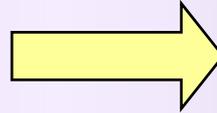
4. 備考

(内訳) 硝酸性窒素等の効率的対策の検討 9百万円
硝酸性窒素等対策推進計画策定等支援検討 11百万円

硝酸性窒素対策等地下水質管理の確化調査

背景

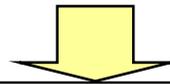
自治体の財政状況の逼迫
団塊世代の大量退職



効率的・効果的な
地下水質管理が必要

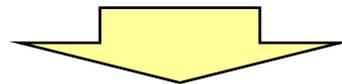
課題

依然高い環境基準超過率
(硝酸性窒素 基準超過率 4.3%)



硝酸性窒素の効率的な 総合対策の検討

地域ごとの硝酸性窒素等対策推進計画策定の支援



目標

地下水質の効率的・効果的な管理の推進